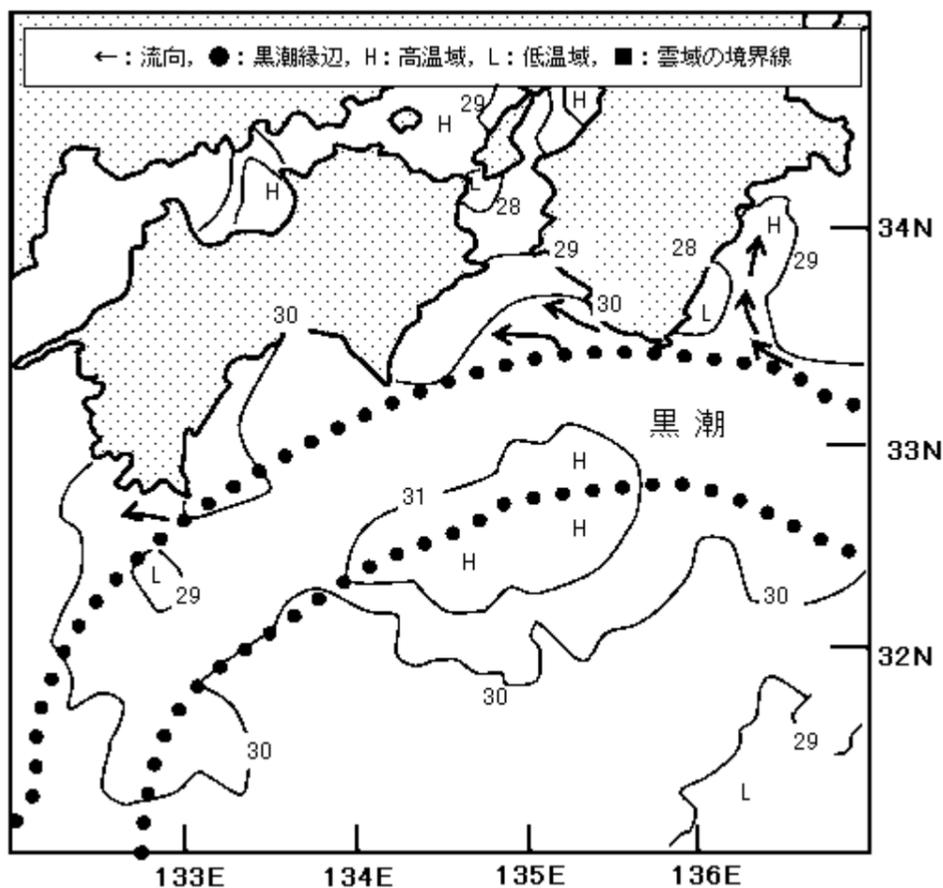


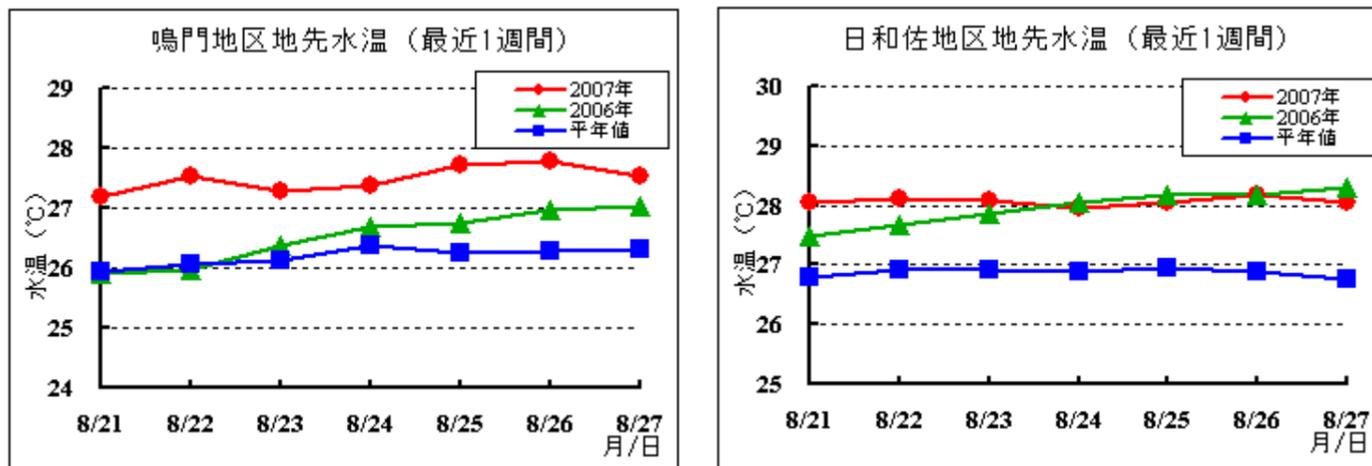
1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.8.26~27)を示した。
 黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は30~31°C台である。
 表面水温は播磨灘が27~29°C台で、紀伊水道内部が27~28°C台で、外域は29~30°C台である。
 先週に引き続き鳴門海峡に28°C以下の低水温域がある。
 潮岬沖の黒潮が接岸しているため、先週に引き続き、潮岬沖からの30°C台の黒潮系水が、紀伊水道外域へ流入しているが、海部沿岸までは達していない。また、紀伊水道外域は、内部からの内海系水の南下が無いと、全般に透明度の高い外海系水に覆われている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」~「高め」の27.2~27.8°Cで、日和佐地区が「平年並み」~「やや高め」の28.0~28.2°Cで、牟岐地区は「平年並み」~「高め」の26.4~28.5°Cで推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マメ主体にマアジが7.2トン(1日1隻あたり81kg)、カタクチイワシが2.8トン(同113kg)、ウルメイワシが0.5トン(同12kg)、カンパチが0.4トン(同8kg)、小小主体にかます類が0.3トン(同9kg)、マルソウダが0.3トン(同8kg)、アオリイカが0.2トン(同4kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にカツオが1.0トン(同162kg)、イサキが0.7トン(同5kg)、小主体にヨコワが0.6トン(同4kg)、マルソウダが0.5トン(同4kg)、紀伊水道でタチウオが1.1トン(同17kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが16.9トン(同170kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)8月21日～8月26日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	89	7,243	81	マメ主体
		カタクチイワシ	25	2,829	113	
		ウルメイワシ	39	461	12	
		カンパチ	48	407	8	
		かます類	37	315	9	小小主体
		マルソウダ	34	275	8	
		アオリイカ	52	218	4	
釣り	海部沿岸	カツオ	6	970	162	大主体
		イサキ	147	712	5	
		ヨコワ	147	582	4	小主体
		マルソウダ	116	500	4	
釣り	紀伊水道	タチウオ	65	1,073	17	
		シラス	99	16,850	170	
パッチ網		シラス	99	16,850	170	

週間予報:

室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の28～29℃、日和佐地先で「高め」の28～29℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが4.5トン(1日1隻あたり33kg)、タチウオが3.8トン(同27kg)、イサキが1.6トン(同11kg)、パッチ網でシラスが5.7トン(同92kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.0トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上